

## 年間休日出勤者数・延べ1488名!!

### 《一向に改善されない要員問題!》

大阪第二運輸所の前年度(2008年)の休日出勤は、会社の宣言どおり6泊指定された乗務員がたくさんいました。それ以外にも自らが申し込んで休日出勤する乗務員を含めて延べ1488名に達することが明らかになりました。

会社は、今年度(2009年)も「休日出勤を1人5泊程度の見込み」と発表し、さっそく4月からたくさんの乗務員に指定しています。

会社は、適正な要員確保を先送りにし、社員に対してはこうした「一方的な休日出勤」を強要し続けています。また会社は、春闘の回答をベアゼロとし、さらに私たち社員に対する休日出勤や効率化を優先した営利優先の経営姿勢を改めようとはしません。社員には労働強化を強いるばかりで苦勞した社員の結果に見合った応えだと感じることは出来ません。

当初、「年休を出すための休日出勤」と会社・管理者が言ってましたが、今の現状をみればその言葉がいかにか欺瞞に満ちた綺麗事だったのか、察しがつく人も多いと思います。

### 《ユニオン役員自ら申し込む休日出勤の実態!》

昨年度、休日出勤を指定された社員数は述べ1488名で、その中には自らが休日出勤に応じた社員が延べ252名いました(下表参照)。中には1年間に23行路も申し出た社員がいたことにも驚きますが、それよりもユニオン関西地本役員、国労分会役員自らが休日出勤に進んで応じている実態があります。

昨年、東海ユニオンの中央委員会、地方委員会で大一運・大二運分会選出の代議員から「休日勤務が増加することは到底承服できない」と発言がありました。しかし、ユニオン役員「ポーズだけの反対!」では職場で悩んでいるユニオン組合員の問題解決にはつながりません。

「自分だけ金がもらえればいい」という社員が増えれば、要員問題は解決されるはずがありません! 要員問題は社員の安全・健康を守る問題でもあります!

ちなみに・・・

以下が自ら休日出勤を申し込んだ乗務員の行路数と人数です。

23行路・・・ 2人	18行路・・・ 1人	17行路・・・ 2人
14行路・・・ 1人	13行路・・・ 1人	10行路・・・ 1人
9行路・・・ 2人	7行路・・・ 1人	5行路・・・ 3人
4行路・・・ 2人	3行路・・・ 7人	2行路・・・ 11人
1行路・・・ 26人		

私たち東海労は声を大にして訴えます!・・・

## 安全・安定輸送確保のため、健康を守るための適切な要員を配置せよ!